

第3回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会

議事要録

日 時：令和元年5月25日（土）

午前10時から午前11時30分

場 所：資源物中間処理施設

参加者：2名

傍聴者：4名

《説明内容》

- ・ 運転状況（4月）の説明
- ・ 性能試験結果について

《確認事項》

- ・ 第2回議事要録の確認
- ・ 第2回での搬入車両台数に関する訂正

《意見交換》

（委員）

- ・ 武蔵村山市の現状については。

（組合）

- ・ 武蔵村山市の委託業者がもっている施設で異物を取り除いて、それをまとめて持ってきています。

（組合）

- ・ 本日の次第に「エコプラザ スリーハーモニー」と書いてあります。こちらは、去年の9月末から11月まで公募を行い、10件の応募があり、選定委員会中で、この「エコプラザ スリーハーモニー」という愛称を選び出しました。3月31日の開所式で発表させていただいたところです。

～性能試験の結果説明～

（委員）

- ・ 私たちの生活にあまり関係ないと言え、それまでですけども、作業室内の室内騒音ですね。手選別作業室、88dBと比較的高い数字になっていますので、何らかの対策をされてはいると思いますけれども、耳栓の着用が85dBから推奨

みたいなのがあると思ので、下げられるような取り組みをしていただければと思います。

(組合)

- ・分かりました。
- ・破除袋し、そこに落下するときに、フードにペットボトルが当たるときの音が大きいので、ゴムを貼って緩衝させるなどの検討はしています。

(委員)

- ・私の管理組合のマンションに住民の方からの意見ですが、ベールを積んだトラックの出入りのときに若干臭気が感じられるという意見が出ております。性能試験は敷地境界でやっていただいておりますけども、常時監視しているのは排気のところだと思うので、エアーカーテンの性能がきちんと機能しているのかと、出入りする際の臭気、それから敷地境界でどうなのかというところを検証していただけるときがあるのであれば、検証していただきたい。

(組合)

- ・臭気測定の方法を検討します。

(委員)

- ・具体的に苦情はあがっていないですか。

(組合)

- ・苦情は伺ってないです。

(委員)

- ・これは稼働前の話しだけでも、騒音がひどくて警察が来たとか来ないとかの話しを聞いた。

(組合)

- ・警察は来ました。

(委員)

- ・騒音のことで？

(組合)

- ・外部掘削工事を遅い時間にしてしまいまして、通報があつて警察が来たという状況です。

(委員)

- ・直接組合の方に苦情はなかったか。

(組合)

- ・鉄骨の梁と柱をボルトで留める工程で騒音の苦情をいただきました。
- ・いただいた方は、お二人かと思いますが、件数は5～6件です。

(組合)

- ・先ほどの $42 \mu\text{g}/\text{m}^3$ というのは、現況の最大値、事前に測ったブランクの最大値で、それに対してこの施設が稼働したときの予測値が $126 \mu\text{g}/\text{m}^3$ です。
- ・ですから、それに対して排出口では、予備性能試験では1回目が $350 \mu\text{g}/\text{m}^3$ と2回目が $160 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 出ているということです。

(委員)

- ・とった時がすごい環境が良かったのか、よく分かりませんが、このとき4月9日の試験ですか、測定したとき、敷地境界のVOCが $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 前後です。2/2で1-3と書いてある。この数字は脱臭装置の外、2回目よりも高くなっている。再度の確認よろしくお願いします。

(組合)

- ・承知しました。

(組合)

- ・T-VOCというのは、私どもで定義して表現している数値で、一般的に用いられる名称ではありません。ppmCのVOCと分けるために私どもでT-VOCとの名前を使っています。

～その他、要望書への回答～

(委員)

- ・前回でも言いましたけども、 200m っていう範囲が妥当だと思ってない。影響がそれ以上に及ばないってことはないと思うので、これに対しては検討しなおして欲しいというのが要望です。当然地域連絡協議会の方でも行政担当者が加わっていたので、こちら(運営連絡会)でも行政担当者に来ていただいて、直接お話しできるような環境にしていきたい。

(組合)

- ・以前から回答させていただいているとおり、地域連絡協議会の枠組みの一環で運営連絡会を開催しております。中島町の連絡協議会については、その場所にすでにその施設があるわけです。そしてそれにプラス建設ということで、3市の清掃行政に係わることもあるので担当者に入らせていただいています。今後、焼却施設

の建設が終了すれば、こちらの運営連絡会と同じように、要綱を変えていくことも考えています。

(委員)

- ・収集方法については市のほうの担当なので、というお話も前回か前々回かされました。収集してきたもの、汚れたものは結局焼却になってしまうとのお話がありましたけども、そちらの収集の方法については、例えばごみの有償化、有料化等々の話も絡んでくると思うので、やはりそういうところも含めて考えると、清掃の担当課長等は参加していただいて、そちら収集の状況、洗浄状態とか、どういうものをこちらの施設に持ち込んでもらうように市民に伝えて、収集していくのかという話しは、していただかないとこの施設の運営もそうですし、結局廃プラスチックが集めたけど再生できなくなってしまうという話しとかも社会的に出ていますので、やはり3市の清掃課長なり、担当の方、衛生部門の担当の方に来ていただいて、そこは話しはしていただくことは必要かなと思います。また、市長のあいさつは形式的なことで、心情的になってしまうので、個人的にはいいかなと思ったりはします。

(組合)

- ・現状で不適物とかいろいろと混じってきているわけですから、施設を運営管理している組合から3市に状況を伝えて改善を依頼しています。
- ・組織市の部課長との会議で組合から強力に申し上げているのは、もっと分別の精度を上げてほしい。残が多いので、汚れたもの、汚れの取れないものも入っているし、ビンもカンも入っているので、もっと徹底してくださいということです。運営連絡会からも要望があったという事はしっかり3市の担当者に伝えます。

(委員)

- ・武蔵村山市が本格的に搬入し出すというのは、何年くらいですか。

(組合)

- ・令和4年に有料化をする計画であると聞いているので、その際に分別の変更も行うことになると思います。

(委員)

- ・(収集車両の搬出) コースに関しても、少なくとも1ルートにしたって線路際まで行って回れば、一番良い。向こうの道路の方が広いし、そんな大してガソリン食う訳じゃないので、今のルートが良いと思っていません。実際、武蔵村山市が入りだしたときに、どうなっていくのかっていうのは分からないので、なんとも言えない。確かに渋滞はしていないみたいですが。

(委員)

- ・月で130台くらい増えるのですよね。武蔵村山市の収集が始まったとして、この4月分の数字を見てとなりますけど、東大和市と武蔵村山市は収集の量として、1日平均の量として重量がほとんど一緒です。東大和市と。台数が130台くらい少ない。130台くらい増えるのでは。

(組合)

- ・長期的な話しですけど。3市ともペットボトルも容リプラも減らす方向で予測をし、施策を打って、減らします。その計画値に基づいて施設の規模設定をしています。計画値よりも増えたら強力に組合として減量要請をすることになります。もちろん人口も減りますし、そこに施策も入りますから、右肩上がりではなくて右下がりにならなければいけないと考えています。

(委員)

- ・以前も環境基準を超えた場合は設備を停止するということですが、仮に超えてしまって一旦停止したとします。復帰をするまでの筋道というかやり方を一応決めていただきたい。次回の議案というかにして、案を考えて提示していただきたいなと思います。

(委員)

- ・VOCについてそんなに詳しくないのですが、イソシアネートという臭気成分っていうのがあるって、それはかなり危険なものらしいが、それについては触れられていない。私も詳しくないのでできれば詳しい方に聞いていただいて、そちらの方でも、日本の基準ではそれについては触れられていない。アメリカなんかでは厳しくやっているみたいなので、その辺の情報を仕入れてもらって、ここでも反映させられるような方法を考えてもらいたい。

(組合)

- ・調べてみます。

(委員)

- ・いわゆる不適合品というのは可燃残さというのが不適合品になるって考えていいですか？

(組合)

- ・はい。

(委員)

- ・汚れたものとか。可燃残さというのが不適合品で。容器包装とペットボトルに関

しては再生ゴミになるわけですね。これは（再生量）各市ごとには出ない（算出できない）わけですね。

（組合）

- ・出てないです。

（委員）

- ・総量でしかでない。搬入の場合は出ていますよね。

（組合）

- ・搬入の場合は搬入時に計量します。

（委員）

- ・処理自体を分けてやっているわけではないので、それだけで市ごとに出すのが難しいということですね。

（組合）

- ・そういうことです。

（委員）

- ・だから、推計と言う形で。搬入に対してこれ位の割合だから、おたくはこれ位だろうというのは、推計で出すとしたら出せないということですね。でも現実には凸凹がある。

（委員）

- ・市ごとで、要は可燃残さの割合が多い市が出てきて、そこの収集方法がどうだとかかっていう話しができないということですね。

（組合）

- ・はい。

（委員）

- ・結果を知りたいので分けてデータが取ればと思っても現実としてそこをとるのは難しいと。

（組合）

- ・施設側として分別もしっかりやってほしいという意味もあって、市別、全部を分析できないので、抜き打ちでA市、B市、C市それぞれ任意に残さがどの程度あるのか、そういう調査はやってみたいと考えています。

（組合）

- ・次回は7月20日（土）10時からということで、この場所をお願いしたいと思います。

(委員)

- ・ 1点言い忘れましたが、排出のVOCを表示していただいていると思いますがそれも月単位で良いので、ミニマム、マックス、アベレージを次回出していただければと思います。

(組合)

- ・ それはできると思います。